

平安女学院がマスコミに報道されました！！

「大学の横顔紹介」で、有栖館とレセプション・ストクラブを紹介。

— 教育芸術新聞六月十二日・七月十日 —



「レセプション・ストクラブ」は、「貴品女性」の言葉を掲げている。言葉づかいや立ち居振る舞いはもちろん、メイクや着こなしまで徹底してマスターし、コンサートを専門とする教員による細かな指導のもと、京都が世界に誇るホスピタリティを身的に実践に携わっている。基礎から実践まで。



有栖川宮田邸を保存
平安女学院大学

国際観光学部が学生が自転車を使った京都観光取材。

— 市民しんぶん 八月一日 —

「民」と「学」が連携して街づくり

— リビング北摂東ほか 七月二十日 —

民・産・官・学
市民と学の交流訪問
平安女学院・どんぐりの森

若いエネルギーが集まった静かな空間（きつつき21）エリア及び周辺に大学や専門学校が数多く存在します。知の集積場は部外者にとって近寄りづらい雰囲気もありますが、「民（住民）産（産業）官（役所）学（学校）」が連携した「まちづくり」の活動が進行しています。

今回訪れたのは、高槻市南平台的の平安女学院一般市民との交流を見学しました。開校38年の歴史をもつ同学が高槻に開学したのは1987年でした。1987年では1987年の高低差がゴルフ場だった頃の面影を残しています。

大学子ども学部、短期大学部保育科の学び舎には大学附属幼稚園も併設され、大きな手づくり木馬や農園があり、キャンパスがまるで「コミュニティセンター」の雰囲気です。

そこにちびっ子を連れれば若いお母さんたちが集まります。市の地域子育て支援拠点事業うちの「どんぐりの森」を訪れたこの日は23歳児の親子20ミッドでした。30分程、親子で身体を動かした後は、お母さんたちの情報交流の場となります。

どんぐりの森は要予約や予約不要イベントなど毎月変化に富んでいます。情報は<http://www.acad.donguri.ac.jp>をご覧ください。

園長 藤原 大輔
副園長 藤原 大輔
園舎 平安女学院大学
〒590-0201 高槻市南平台的1-1-1
TEL:072-431-2222

大学で茶道を必修化(続報)

— 朝日新聞 五月十日 —

茶道を1年生必修科目に

平安女学院大 千玄室さんと協定

平安女学院大(上京区)は、今年度から茶道を1年生全員の必修科目にした。茶道専攻の千玄室・前家元と、茶道をカリキュラムに組み込む「教育協定」を交わし、表現した。

千玄室は昨秋、大学運営する学校法人・平安女学院の名理事に就任、学生に直接教えることもあった。同大学には「国際観光」

り、今春入学した1年生計140人が「伝統文化臨」(茶道)を受講する。4年生でも希望者は茶道を履修し、4年間履修して資格が修得でき、専攻卒業の条件となる。また、今年1日に学内「伝統文化研究センター」を開設した。所長には茶道専攻千玄室の関与が期待されている。(前井文恵)

地元大学の子ども向けイベント

— きつつき 五月二十七日 —

「子ども教室」として、全8プログラムを実施。
【身近な自然の観察を科学者の視点でしてみよう】
8月4日(日)10:30~12:00、小学校5~6年生20人、参加費100円
【高槻の町の様子をマップにしよう】8月4日(日)13:30~15:00、小学校3~6年生20人、自分だけの秘密の場所やおすすめスポットを書き込んだ、高槻のイラストマップを作成。参加費100円
【五感をひろげて造形あそび】8月3日(土)、9月23日(祝)13:30~15:00、小学校1~6年生20人、日別に色付け、ネックレス作りなど。参加費100円。
※上記講座の申し込み、及び上記以外の講座の詳細はwebで。締め切りは各講座開催日前の月曜17:00、先着順。問い合わせは☎072(693)2311子ども教室係へ。

平安女学院大学 高槻キャンパス(高槻市)
JR高槻駅から市バス平安女学院大学東徒歩5分
<http://www.heian.ac.jp/>